

入 場 無 料

平成29年度 公共建築の日及び公共建築月間 中部地区イベント

建築CPD
情報提供制度
認定プログラム

講演会

「まちづくりに寄与する施設づくりを考える」

講演1



出典:JP TOWER NAGOYA HP

「JPタワー名古屋」の開発について

～ユーザーのためのオフィスビルの試み～

日本郵政株式会社
不動産企画部 部付部長

本間 徹 氏



講演2



出典:(一社)公共建築協会 HP

街道を抱く 木の学び舎 亀山市立関中学校

～故郷に生き、故郷を支える想いを伝承する学び舎～

株式会社 石本建築事務所
部長

高橋 政志 氏



日 時

平成29年11月15日(水)
14:00～16:30 (開場:13:30)

場 所

JPタワー名古屋 (3階ホール)

名古屋市中村区名駅一丁目1番1号
JR「名古屋駅」、地下鉄「名古屋駅」下車徒歩1分



主 催: 「公共建築の日」及び「公共建築月間」中部地方実行委員会
後 援: 中部地方整備局、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市、名古屋市
問合せ先: (一社)公共建築協会中部地区事務局 TEL:052-243-0789

11月11日は「公共建築の日」、11月は「公共建築月間」です。

行政、教育、文化、社会福祉など様々な分野にわたる各種の公共建築は、広く地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化、街並み・景観の形成を図る上で重要な役割を果たしています。公共建築の果たす役割を国民の皆様にご周知いただくため、また、国民生活により一層密着した公共建築を考えていくために、「公共建築の日」「公共建築月間」が創設されました。

「公共建築の日」である11月11日は、建築の基本的な構造を象徴している四本の柱をイメージしており、国会議事堂の完成年月が昭和11年 11月であることにも由来しています。

講演会 まちづくりに寄与する施設づくりを考える

大都市や地方都市などそれぞれの地域におけるまちづくりは、地域性、自然環境、景観、歴史的な経緯などを反映しながら、また、賑わいの創出や交流拠点の形成などの新たなニーズに対応しつつ、絶えず変化していきます。

その中において、「まちづくり」において公共的な建築物が果たしている役割は非常に大きく、まちの一要素でありながら、景観形成や人の流れに大きく影響している場合があります。

今回の講演会では、まちづくりに寄与している公共的な建築物の好事例をご紹介します。ご参加の皆様にとって、公共建築物の果たす役割や意義について考える契機になれば幸いです。

講演1 「JPタワー名古屋」の開発について ～ユーザーのためのオフィスビルの試み～

本間 徹 氏	日本郵政株式会社 不動産企画部 部付部長
略歴 等	1961年 東京都生まれ 横浜国立大学工学部建築学科卒業、東京工業大学大学院総合理工学研究科修了 1985年 郵政省入省、郵便局等の郵政事業施設の企画、設計等に携わる 2007年 日本郵政(株)入社、JPタワー名古屋の開発責任者をはじめ、不動産開発関連業務に携わる

講演2 街道を抱く木の学び舎 亀山市立関中学校 ～ 故郷に生き、故郷を支える想いを伝承する学び舎 ～

高橋 政志 氏	株式会社 石本建築事務所 部長
略歴 等	1958年 愛知県生まれ 1981年 東京大学工学部建築学科卒業、(株)石本建築事務所入社 2006年 全国各地のオフィスを経て名古屋オフィスへ転任、現在に至る 2013年頃より 三重大学、名城大学、愛知工業大学非常勤講師、文部科学省関連学校施設部会委員など

平成29年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」中部地区イベント 講演会 FAX申込書

※以下の記入欄に必要事項を記入の上、FAXでお申し込み下さい。

申込先：(一社)公共建築協会中部地区事務局 TEL：052-243-0789

申込先 FAX：052-241-6152

※参加者には、確認票をFAXで返信致します。応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。(定員：108名)

※講演会は、建築CPD情報提供制度の認定を受けたプログラムです。認定を希望される方は、当日、参加者IDを名簿にご記入下さい。

フリガナ

勤務先：

TEL：

終了しました

講演会参加者 氏名	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	
	☐ 有	☐ 無	

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、このイベントの受付確認以外の目的で使用することはありません。